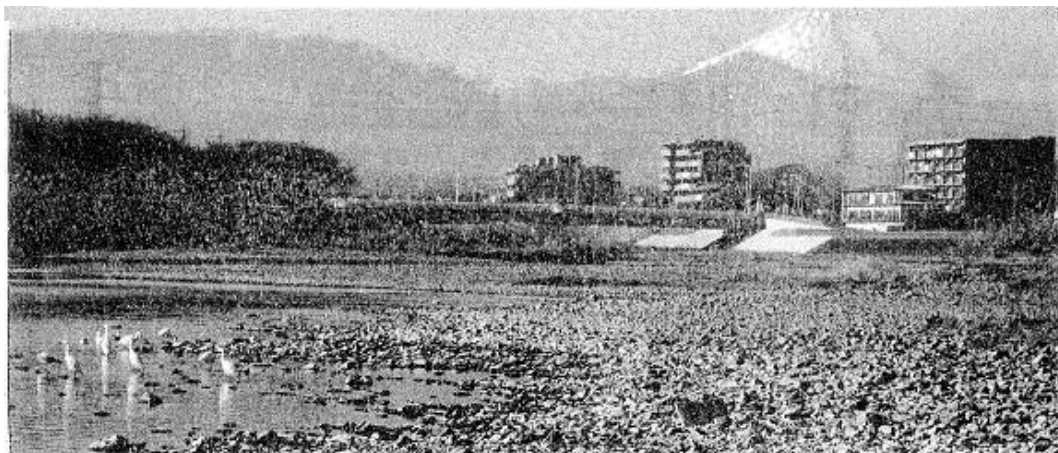




2003年

迎春

中野あきと事務所



一番橋下流から望む富士

選挙公約の実現へ

この一年をふり返って 中野あきと

昨年2月の市議選から、早いもので間もなく1年がたとうとしています。

私はこの間、不況で苦しい生活を余儀なくされている市民の皆さんのくらしを支えること、保育・子育て支援、まちづくり・区画整理の問題から、地域の皆さんの切実な要望まで、選挙で掲げた公約の実現をめざし取り組んできました。

学校給食の民間委託や南部病院用地の売却問題では、自民、公明などの多数で強行される事態となりましたが「『財政難』のつけを子どもにまわすな」「まちづくりの主役は私たち市民だ」と、保護者や住民の声を聞かない市の強引なやり方に、市民の新たな反撃が始まっています。この間、市議会に寄せられたさまざまな請願の署名数は、65,000名、有権者の半数を超える状況です。

長野、徳島、尼崎、熊本、近隣では国立、調布など、いま全国で市民・県民が立ち上がり、新しい政治を起こすうねりが広がっています。私たち日野のまちでも、市民の力強いたたかいが生まれ広がり始めています。

こうした人々やたたかいと誠実に力を合わせながら、市民の願いが通る市政へ全力を尽くします。

子育て支援

保育・乳幼児医療費の助成

私も子育て真っ最中。「子育て世帯の悩みや願いを市政にとどけ続ける」。この思いで選挙後も一般質問、委員会などで子育て支援の充実を求めています。

保育園では『財政難』を理由に、子どもたちの食料費がこの三年間で大幅に減らされ、子どもたちの保育に影響が出ていることを告発。市長もこ

小児救急の充実を求めて

私もお子育で「何とか努力を認め」「何とか努力を認めたい」と回答せざるを得ませんでした。繰り返し要望してきた夜間小児救急については、当初、市立病院で週二日の体制だったものが昨年六月以降週三日に、さらに昨年末からは月の約半数、十五日へと充実がはかれることになりました。

住民要求

身近な願い実現へ

公園の改修、信号機設置、地区センターの再建など

地域の皆さんから寄せられる、さまざまな要望についても、すぐに解決できるもの、繰り返し議会に取り上げ、少しずつ解決がはかれるものと、様々な問題がありまして。

この間議会でも取り上げてきた南平一丁目、二丁目の交通安全対策で、相次いで信号機が実現。また、要望が強い南平西部

地区センターの再建問題は、いよいよ十五年度から基本設計に入ることにになりました（完成予定は十六年度）。

平山住宅の子どもの遊び場については、昨年一月に住民の皆さんと、都住宅供給公社立川支社と交渉、今年から改修工事が行なわれることになりました。

【裏面に続く】



☎ 591-7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどりと清流

2003年1月発行 第14号
日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900円
日曜版 一か月 800円
お申し込みは
南多摩事務所 ☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡
南平駅
中野あきと事務所

ヤマダ
デンキ

北野街道



【その他、議会で取り上げてきた主な問題】

- ☆高齢者への緊急通報システムの拡充を
- ☆高齢者見守りネットワーク制度の確立を
- ☆ハンデキャップ事業（障害者などの送迎）の充実を
- ☆豊田南、商業地域への小住宅地権者の、換地問題について
- ☆西山1丁目の交通安全対策
- ☆平山小学童クラブへ暖房設備を（設置実現）



まちづくり

住民の運動と力を合わせ

議会で徹底追及、市を動かす

東電の変電所建設問題、向島地域の道路建設などの開発問題、豊田の高層マンション建設問題など……。まちづくりに関わる住民の皆さんのたたかいが、市内の各所で広がりました。

私は、地域住民の皆さんと力を合わせ、市の強引な姿勢を議会で徹底的に追及、市の態度を変えさせてきました。

変電所建設の問題では、「対応が困難」「建設は仕方ない」としている市の態度を追及。「あらためて住民の立場にたつて、意を強くしてがんばってみる」「私のパワーが試される問題だと思つてがんばつてみたい」という市長の答弁を引き出しました。

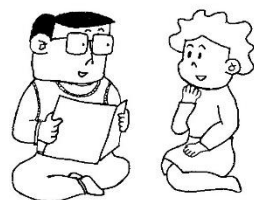
その結果、建設工事は中止されています。

向島緑地についても、ダスト舗装化の方針が見直され、これまでどおり保全されることになりました。

夫婦の

時事問答

地方政治に新しい流れが



妻 去年の明るいニュース

スといえ、日本共産党と無党派の人たちが押す首長が各地で誕生したことね。

夫 徳島と長野での知事選、熊本と尼崎の市長選の勝利など各地で利権政治を見直し、自治体らしい自治体を取り戻そうという流れが広がっている。

新聞も、「今や、閉そく感から抜け出したいという空気は、どこにも満ちあふれている」と書いているほどだ。

妻 政府の経済政策の失敗で暮らしはひどくなるし、地方に対しても交付税や補助金の切り捨てで、住民の負担は増える一方よ。

だから無党派の人だけではなく、自民党の支持基盤だった人たちが団体の間にも、何とかしたいという機運が広がっているのね。

夫 日本共産党以外の政

党が「政党の衰退」と云われているように、語るべき政策を持ってないでいる。

そんななかで、よりどころになるのは日本共産党しかないという、新しい共同の流れが広がってきているのと思うよ。

妻 去年日野市でも、今までにない幅広い父母や市民から、市立幼稚園の存続や学校給食の民間委託実施の凍結、学校図書館への専任職員の配置を求める請願が出されて、たくさんの署名が集められたのよ。

ところが市議会と党は、これをみんな不採択にしました。運動を進めた人たちからは、日野の市政ってこんなにひどかったのかという怒りや疑問があがっているわ。

夫 高幡地区の医療用地売却に端を発したマンション建設や緑地保全の問題、東電の変電所建設問題で運動に立ち上がった広範な人たちもいる。

日野市でも幅広い共同で、都政や市政の転換をはかることが大切になってきているね。

短信

明けましておめでとうございます。新しい年いかがお過ごしでしょうか。不況の年は初詣が賑うといいますが、高幡のお不動さんも大変な混雑でした。元旦にはめずらしく雪がちらつき、何やら変革の年の予感もします▽政治を変える絶好の年〃〇三年の幕開けです。四月にはいつせいの地方選挙。日野市では議員選挙はありませんが、都知事選が控えています。二十一世紀最初の総選挙も必至と云われています▽いま長野と並んで高知の地方政治の変革が注目されています。橋本知事に、原則的で柔軟な態度を貫く日本共産党の存在抜きに、もはや県政は語れません。九九年のいつせいの地方選挙らしい中間総選挙のすべてで全員当選。ここで注目されているのが、広く有権者に届けられている後援会のニュースです。

▽一昨年十月、中野事務所開設と共に発行している「みどり清流」も同じ趣旨のニュースです。さらに多くの地域の方々に読んでいただくようがんばります。今年もよろしくお願い致します。